

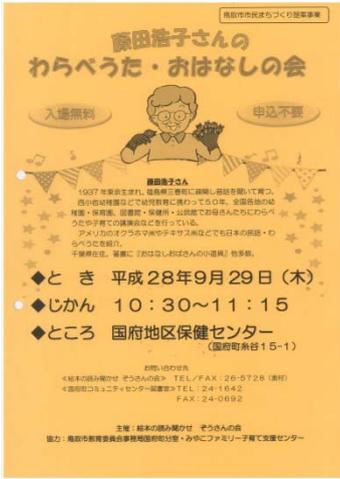
平成28年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績1

事業者	団体名	円護寺ホタルをまもる会	代表	石田 建治
事業内容	助成事業名	円護寺川ほたるの舞う環境保全再生事業		
	事業目的	幼児から高齢者まで地域住民をはじめとして訪れる市民が親しみ、夢を膨らませるホタルの環境再生を図る。また安らげる地域への再生と環境保全・啓発の推進を図る。		
	事業の内容	<p>ポスター原画募集源流地の探索会、幼虫の餌の放流会の開催等。 環境保全活動・啓蒙看板の設置、鑑賞会・七夕祭り等。 ホタルにまつわる俳句作品の考案、作品発表、学習発表会の開催等。</p> 		
	実施場所	中ノ郷地区町内	実施日	通年
	対象者	地区住民	参加人数	—
	事業の成果	<p>地元の小学生と一緒にホタルの生態調査・環境保全啓発学習をすることによって生命の大切さを感じ、自然と共生していることや生命の尊さを認識することが出来た。 小学生が詠んだ環境保全に繋がる俳句標語を掲示板に展示することで道行く人々に環境保全の周知・啓蒙が出来た。またゴミのポイ捨て抑止の相乗効果があった。</p>		
	今後の活動の展望	<p>地区住民を対象に環境保全の重要性を一層周知するため、指導者の増強を図る研修会などを開催し組織の充実を図る。 また、年次計画を作成し賛同者に周知することで事業の推進を図る。 行事を一過性のものにせず、「地域伝統・環境保全・文化保護・歴史を伝える」ことを重要課題として取り組んでいきたい。</p>		
費用	総事業費	99,280	助成金額	79,000

平成28年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績2

事業者	団体名	鳥取県東部手話サークル連絡協議会	会長	星見 安鶴子
事業内容	助成事業名	手話でつながる公演会(手話落語)		
	事業目的	多種多様な手話表現を通じて、聴覚障がい者理解の促進と手話普及を目的とし、広く市民へ呼びかける。障がいに関係なく、集い楽しめる場を作る。		
	事業の内容	事業中止		
	事業の成果			
	今後の活動の展望			
費用	総事業費		助成金額	

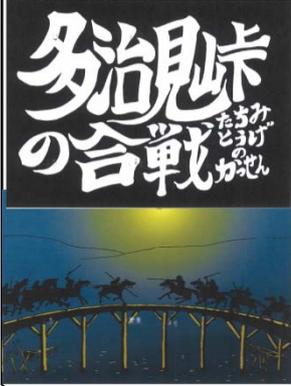
平成28年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績3

事業者	団体名	絵本の読み聞かせ ぞうさんの会	代表者	桑田 弥生
事業内容	助成事業名	地域で子育て親育て おはなしおばさん 藤田浩子さんのおはなし会		
	事業目的	赤ちゃんから大人まで地域全体の子育て親育てを応援するために、幼稚園での教育活動の傍ら「おはなしおばさん」として50年以上に渡り各地で昔ばなし・わらべうた・遊びを伝え続けている藤田浩子さんをお招きし、「おはなし会」や講演会を通して一人でも多くの方が子育てに関心を持ち、安心して楽しい子育てが出来る地域づくりを目指す。		
	事業の内容	<p>わらべうたやふれあい遊び、小道具を使ったおはなしを親子で楽しむ。昔ばなしや伝承あそびを体験する。講演会や研修会の開催。</p>   		
	実施場所	岩倉地区公民館、岩倉小学校、かんろ保育園等8会場	実施日	平成28年9月29日(木)～10月2日(日)
	対象者	子育て中の親子や地区住民、保育園児等	参加人数	約700人
事業の成果	<p>どの会場も笑いに満ちあふれており、わらべうたやふれあい遊びを通して「子どもの笑顔がいっぱい見られ、家でも楽しみたい」等の感想が寄せられ、楽しい子育ての手がかりとなった。</p> <p>地元の保育園年中児～小学校2年生全員がメディアとは違う肉声で語られるお話の世界の楽しさと人とのかわりの心地よさを体験できた。</p> <p>子育て親育て講演会を通して若い親御さんに伝えたいことを学び、孫や地域の子どもたちに出来ることをしたいと考え、地域で子育ての関心が高まった。</p> <p>今までの活動の手ごたえ、これからの活動への力を確信でき、ボランティア活動の喜びを共感できた。</p>			
今後の活動の展望	<p>目と目を合わせ肉声で歌い語られるわらべうた・おはなし等の伝承文化は、子どものコミュニケーション能力を高めることを確信した。人と人とのふれあいを大事にし、安心して楽しい子育てが出来るまちづくりを目指し、伝承文化を広め根付くようにしたい。そして今後も研修会を開催し、地域で伝承普及できる人材を育成していきたい。</p>			
費用	総事業費	249,767	助成金額	192,000

平成28年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績4

事業者	団体名	鳥取更生保護女性会	会長	坂尻 恭子
事業内容	助成事業名	薬物乱用防止啓発事業		
	事業目的	薬物乱用の問題は人生をダメにし、本人だけでなく社会や家庭に迷惑をかけている実態は悲惨と言わざるを得ない。最近では鳥取でも薬物乱用者が摘発されることも少なくない中、薬物乱用の問題を多くの方に關心を持っていただくため、子どもから大人まで幅広い年代を対象にした紙芝居を作成し、普及啓発を図る。		
	事業の内容	<p>薬物乱用防止指導員(会員8名)により、薬物乱用防止の紙芝居、またそれとともにDVDを作成。会員・保護司合同研修会、地区公民館で実演、放映し啓発を図る。</p>    		
	事業の成果	<p>県の取組に合わせて、また未来の青少年の育成に啓発は必要と考え、紙芝居・DVDの実演によって、知らなかった方達の薬物の怖さに対して関心度も深まっているように思われる。他人事から自分事・身近な事へと今後も啓発していきたい。</p>		
	今後の活動の展望	<p>公民館、小・中学校、幼・保育園のPTA活動に紙芝居・DVDを活用し広く薬物乱用防止啓発を図っていきたい。また、DVDは予算の範囲内で多く作成できたため、関係機関に寄贈し、啓発を図りたい。</p>		
費用	総事業費	170,171	助成金額	136,000

平成28年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績5

事業者	団体名	電子紙芝居で語る 民話の会	代表者	福本 政男
事業内容	助成事業名	～鳥取の民話を後世に伝えたい～電子紙芝居の制作事業		
	事業目的	鳥取に伝わる民話や昔の出来事を電子紙芝居で紹介し後世に伝えようと、福祉施設や公民館・小学校などからの依頼により上映会を行っている。 今後さらに活動を活性化していくため、専門家の協力を得て、より質の高いリアルな作品を作成し、多くの方に伝え、楽しんでいただきたい。		
	事業の内容	<p>専門家の協力を得て、より質の高い電子紙芝居を作成する。消えていく貴重な昔話を一話でも多く残したいという想いで物語を発掘し、電子紙芝居という形で保存し、依頼のあった公民館、学校、施設などで出前上映会を行っている。</p>  		
	事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の小学校で地域に伝わる民話を電子紙芝居で上映したところ、子どもたちから「初めて聞いたがとても興味を持った」「地域に伝わる話をもっと知りたい」「自分たちの地域に誇りが持てた」等の感想が聞かれた。 ・他地区の老人会でも、地元の民話を観てもらったところ、「昔を思い出して懐かしかった」と喜んでもらい、たくさんの人の笑顔に元気もらった。民話には人を幸せにする力があると感じた。 ・歴史物の伝承「立見峠の合戦」を作れたことは、史実を地元伝えていくためにも大きな意味があると思う。 		
	今後の活動の展望	今回出来上がった紙芝居を子ども会などで観てもらうことで、故郷を誇りに思い、愛する心を持った子どもがたくさん育ってほしい。 これからも、新しい紙芝居の作成に努力すると共に、たくさんの人たちに鳥取の民話を楽しんでいただけるように頑張りたい。		
費用	総事業費	262,968	助成金額	200,000

平成28年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績6

事業者	団体名	特定非営利法人 とうごう未来応援隊	代表理事	橋崎 和弘
事業内容	助成事業名	泥田を疾走せよ！ 第1回東郷田植え祭り！		
	事業目的	高齢過疎化が進行する鳥取市東郷地区。まちづくりの起爆剤となる第1回東郷田植え祭りを盛大に開催し、多くの方に東郷地区に足を運んでいただき、魅力あふれる東郷地区を作り上げていきたい。この事業により東郷地区の活性化はもちろん、農業振興、地域振興、移住定住活動にまで繋がる、鳥取市の一大イベントとして継続開催を行えるような垂直立ち上げを実現する。		
	事業の内容	<p>泥田場内に障害物を配置したコースを設置し、苗を背負った選手が障害物を乗り越え、苗植えを完了するまでのタイムを競う。東郷地区外からも参加者を募り、地域振興や交流を図るとともに東郷地区の魅力を体感していただき、町おこしイベントとして開催する。</p>   <p>鳥取初上陸！ ～泥田を疾走せよ～ 第1回とうごう田植えまつり</p> <p>田植えまつりお祭り「泥田を疾走せよ」で鳥取市東郷地区の魅力を最大限にアピールして行われるお祭り、「世界の果てまでインテQ！」で宮川大輔さんが参加されたものとしよう！</p> <p>出場者求む！</p> <p>東郷地区の特産品が誇る「鳥取県産米」を背負って、泥田を疾走する選手を募集します。参加費は無料です。泥田を疾走する選手を募集します。</p> <p>開催場所 鳥取市東郷地区（鳥取 IC すぐそば）</p> <p>開催日 7月10日（日） 時間10:00～13:00</p> <p>エントリー料金 2名1組 1,000円、先着 30組</p> <p>締め切り 6月25日まで</p> <p>主催 NPO 法人とうごう未来応援隊 事務局 鳥取市東郷地区 0859-558021-2934 twitter@tougoimr.org 協力 東郷地区各種団体・オアシス東郷・ワンマンアグリカルティビティ株式会社 協賛 日本海テレビ・朝日新聞(鳥取)・新日本海新聞社・Utsunomiya FM(鳥取)・鳥取市 (代表)</p>		
	実施場所	東郷地区泥田場	実施日	平成28年7月10日
	対象者	東郷地区外住民及び 参加希望者	参加人数	約200名
事業の成果	東郷地区外から約100名の方にお越しいただき、自然体験事業として東郷地区の良さを感じていただくことができた。また東郷地区内からも約100名の有志メンバーを始め、各種団体の協力をいただき盛大に開催することができた。また、メディアでも大きく取り上げていただいたことで、東郷地区、中山間地域の活性化材料として広く広報できた。			
今後の活動の展望	参加者からもぜひ継続して開催してほしいとの言葉もいただき、今後も東郷地区の新たな事業として、開催していく。			
費用	総事業費	135,612	助成金額	100,000

平成28年度市民まちづくり提案事業(市民活動促進部門) 事業実績7

事業者	団体名	鳥取式屋台楽宴 実行委員会	代表者	鷲谷 ゆい
事業内容	助成事業名	トットリ式屋台楽宴プロジェクト2016秋の用瀬めぐり きむらとしろうじんじん「野点」2016in用瀬+いろいろ屋台の宴		
	事業目的	地域(昨年度に引き続き用瀬)の魅力の再発見と、地域住民・アーティスト・学生の相互交流を促すため、それぞれが創り上げるユニークな屋台が一堂に集うイベントを開催する。		
	事業の内容	<p>「鳥取市内の様々な場所に魅力的な何かを持ち出し、地域を刺激し、新たな出会いとコミュニケーションの深まりを楽しむ！」という精神のもと、さまざまな世代、地域の市民、学生、アーティストが用瀬に集まり、各自が考える「魅力的な何かを実体化した手作り創作屋台を披露し、訪れた市民との交流、そして用瀬に潜在する魅力の再発見につながるような「屋台イベント」を開催する。</p> 		
	実施場所	JR用瀬駅前芝生広場と 用瀬のあちらこちら	実施日	平成28年11月13日
	対象者	鳥取市内に居住する方々を中心とし、年齢性別を問わない	参加人数	約1200名
	事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の風景とは違った風景を見ることによって出展者・参加者ともども、まちが持っていたさまざまな可能性を感じ、地域の魅力を再発見することができた。 ・地域住民・学生・アーティストが密接にイベントを作り上げたことによってその場限りではない次回に向けた志のある関係性が生まれた。 ・地域住民の多くが積極的にイベントの企画者・出展者として参加していただき地域の方々へも活動が誘発された。開催日が近づくにつれて地域住民から次々と出店希望が出てきて、イベント自体もより豊かになるとともに目に見えてまち全体が動いていることが見て取れた。 ・鳥取市内県内にとどまらず県外からも参加者が来るほどの賑わいを創出した。新メンバーも多く集まり、実際に地域で活動を行うノウハウや地域の中での関係性のつくり方を学ぶことができた。 		
今後の活動の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き鳥取市の魅力的な場所で、創作屋台や野点を展開していきたいと考えている。 ・開催地の決定にあたり、まち歩き的时间を設けることができなかったため、今後は市内のさまざまな場所でまちあるきを行い、開催地の決定を行いたい。 			
費用	総事業費	339,189	助成金額	90,000